

From Ibigawa S A B O

秋も本番を迎え、朝夕はめっきり寒くなってきました。越美山系砂防事務所では多くの行事や会議等が目白押しで、職員もフル回転で対応しています。また、各現場は快晴に恵まれ順調に工事が進んでいます。

土砂災害と砂防施設の役割について学ぶ ～北和中学 2年生（揖斐川町）～

10月17日に揖斐川町立北和中学校2年生の生徒さん46名が「総合的な学習の時間」を活用し、揖斐川流域の自然環境施設について学習するため当事務所へ来所されました。

揖斐川上流域の土砂災害の発生状況や、被害を軽減するための砂防施設などについて柘植工務課長が説明し、生徒の皆さんは熱心にメモをとりながら聞いていました。

生徒の皆さんからは、「土砂災害の恐ろしさと砂防堰堤の役割がよく分かり、自分達の生活を守るためどのような工夫がなされているか学ぶことができました。」など、沢山のお礼や激励の手紙をいただきました。

根尾川で過去の災害から学ぶ ～第3回 山郷倶楽部開催～

当事務所では、10月24日に第9期最後の「山郷（やまぐに）倶楽部」を開催しました。

今回は根尾川筋における過去の災害現場を訪ね、土砂災害の恐ろしさを実地に体験すると共に、現在進められている砂防施設等の施工状況等を見学しました。

参加者からは、「昔は山を歩いていると砂防ダムは邪魔でしかたなかったが、参加して見方が変わった」とか「揖斐川上流域のファンになれた気がします」との感想をいただきました。



2年A組の皆さん



2年B組の皆さん



地震断層観察館（本巣市根尾水鳥）の見学



宇津志谷第1砂防堰堤の工事現場見学

詳細はこちら

（事務所HPへ）

<http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/topics/yamaguni3kai121030.pdf>

大規模土砂災害危機管理検討会を開催

当事務所では、10月18日に「越美山系大規模土砂災害危機管理検討会」を、関係機関（岐阜県、本巣市、揖斐川町）参加を得て開催しました。

10月1日に記者発表した「深層崩壊に関する溪流（小流域）レベル調査」の説明や、11月25日に本巣市で実施予定の「大規模土砂災害対応に関する訓練」について議論がされました。



南砂防部長・梅山局長が管内を視察

10月25日に国土交通省砂防部の南部長及び中部地方整備局の梅山局長が来所され、事務所管内において深層崩壊の発生が懸念される箇所や、平成22年1月に山腹崩壊が発生し現在復旧工事が進められている八草川山腹工事（施工：（株）久保田工務店）の進捗状況等を視察されました。



地元揖斐川町
富田副町長からの説明



山腹工事の進捗状況説明

パネル展『忘れない。』開催中

～東日本大震災と救命・救急ルート確保、復旧への記録～

当事務所1階の展示コーナーにおいて、東日本大震災の被害や復旧・復興へ向けた東北地方整備局の取り組みを紹介したパネル展を開催中です。また、中部地方整備局が災害派遣したTEC-FORCEの記録『即（ただ）ちに』のパネル展も同時開催中です。来所の際は是非一度ご覧下さい。



崩壊地上部へは
モノレールで移動



崩壊地上部より崩壊箇所や
周辺の状況を確認

INSEM工法の試験施工 = 敷原谷 =

本巣市根尾長嶺(ねおながみね)地先で工事を行っている敷原谷(しきはらだに)第1砂防堰堤工事(施工:田中建設工業(株))は、現場で発生する土砂を有効利用するために砂防ソイルセメント工法(INSEM工法)を採用しています。砂防ソイルセメント工法とは、現地発生土砂とセメントを施工現場で混合し、振動ローラで締め固め構造物の築造や地盤改良を行うもので、10月24日に自走式土質改良機(リテラ)を使用して試験施工を行い、4週間後に強度の確認を行います。

試験施工の日は山郷倶楽部の開催日と重なったため、皆さんにも見学していただきました。



① INSEM材の製造



② 運搬・敷均し



③ 転圧



山郷倶楽部の見学

出張所業務をしっかりとサポート

出張所の主要業務である工実施の監督を補助していただいているのが工事監督支援業務の上村さん(受託:イッセイコンサルタント(株))です。

工事現場の出来形の確認や施工状況等の立会、施工業者より提出される書類のチェック等、出張所職員だけでは手が回りきらない業務の補助をさせていただいており、発注された工事の円滑な履行及び品質確保のために連日奮闘していただいています。



大蔵谷第1砂防堰堤道路工事にて岩質の確認(奥)



瀬戸谷第1砂防堰堤工事にて鉄筋組立状況確認(手前)

安全技術研修会が開催される ～ 砂防工事安全技術協議会 ～

揖斐川上流域で砂防工事を行う建設業者で組織する協議会主催の研修会が10月23日に開催されました。岩田出張所長より、昨年中部地整管内で発生した事故事例と安全対策について説明し、事故ゼロ・災害ゼロの取組をお願いしました。



大転石がゴロゴロと = ドン谷 =

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先で工事を行っているドン谷渓流保全工事(施工:西建産業(株))では、帯工や橋梁下部工の掘削を行いました。

掘削を始めると直径が2mを超えるような転石がゴロゴロと出てきて苦労しています。この転石はある程度角が取れて丸みのある形をしているため、過去に発生した土石流により流下し堆積したものと推測されます。土石流の威力の大きさを改めて感じます。



0.25m³級BHと比べても転石の大きさを実感

右岸の掘削始まる = 内谷 =

揖斐川町外津汲(とつくみ)地先で工事を行っている外津汲内谷(うちたに)第1砂防堰堤工事(施工:(株)所組)は、砂防堰堤の左岸側が完成し、現在右岸側の掘削を行っています。

長大な法面掘削となるので、熟練のオペレーターが安全かつ慎重に作業を進めています。



川と海のクリーン大作戦

10月27日(土)に揖斐川町内の揖斐川で、28日(日)には根尾川で「川と海のクリーン大作戦」が行われました。早朝より大勢の地域の方々が集まり、堤防や高水敷に捨てられたり上流から流れ着いたりしたゴミを拾い集めました。

当事務所からも職員が参加しました。また、当事務所発注工事を受注する施工業者の方々も多数参加されていました。



揖斐川にて



根尾川にて



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp